

# 新規事業評価調書

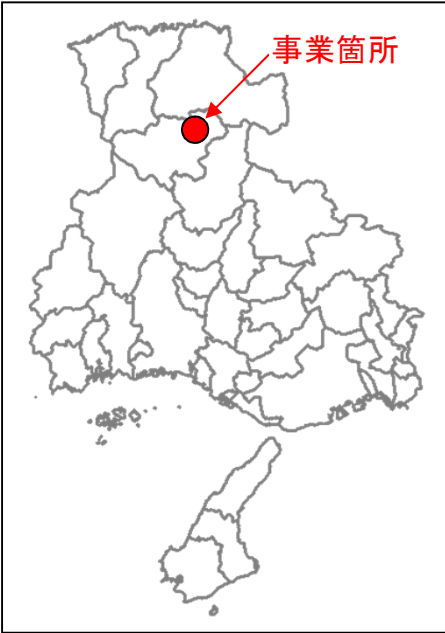
## 【急傾斜地崩壊対策事業】

### 大明神地区

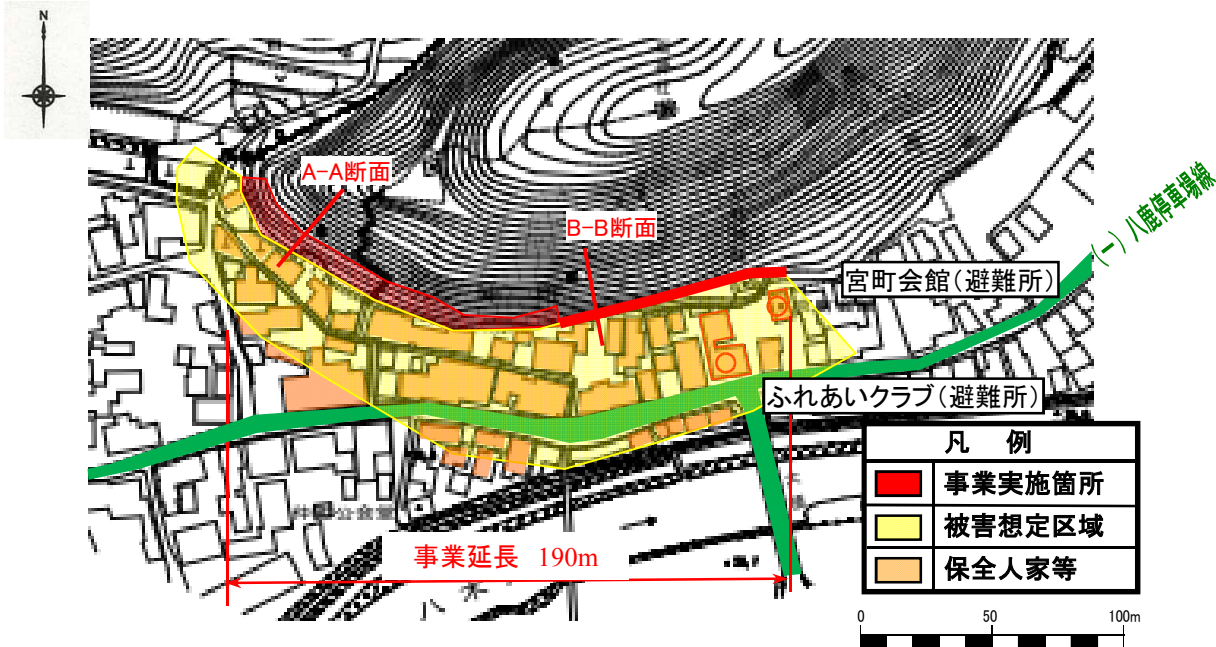
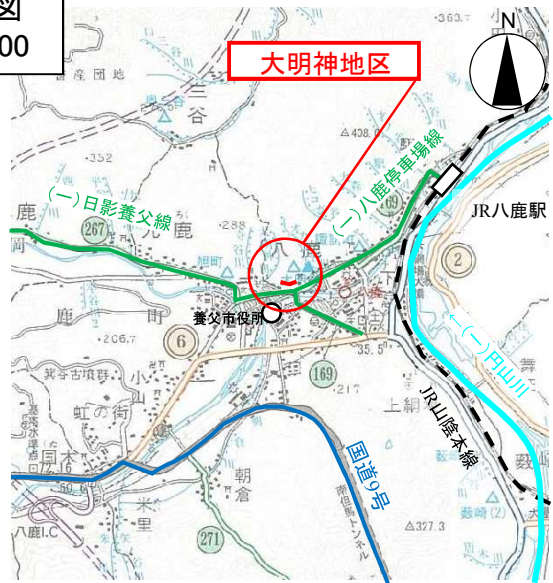
県土整備部  
土木局 砂防課

## 投資事業評価調書（新規）

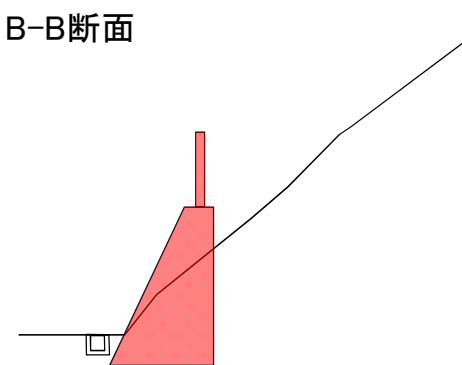
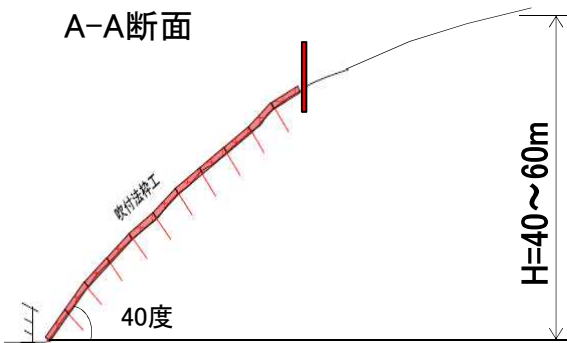
部課室名	県土整備部土木局 砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 市川和幸 (主幹 肥田憲明)	内線	4459 (4467)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
急傾斜地崩壊対策事業	急傾斜地崩壊対策 だいみょうじん 大明神地区	養父市八鹿町 ようか 八鹿	1.2億円	—	平成27年度	平成29年度
事業目的			事業内容			
<p>当地区は、斜面崩壊の危険性が高いことから、急傾斜地崩壊危険箇所となっており、斜面の下部には人家46戸、避難所である集会所、県道などがある。</p> <p>そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(H26～H30)」に基づき、急傾斜地崩壊対策を実施する。</p>			<p>事業延長 190m 擁壁工 延長60m 法枠工 面積1,520㎡</p> <p>[負担割合] 国・県：各47.5% 地 元： 5.0%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>①八鹿町大明神地区にある急傾斜地崩壊危険箇所（養父市役所より北へ約0.2km）である。</p> <p>②斜面は荒廃しており、崩壊箇所や落石（H25.9発生）も認められ、危険な状態である。</p> <p>③がけ直下に多くの人家が連たんしており、土砂災害の危険性が高い。</p>					
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>①警戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。</p> <p>②地元要望が強く、工事に対する地元の理解が得られていることから、円滑な事業の執行が可能である。</p>					
(3) 環境適合性	①斜面の改変を最小限にとどめ、既存木を可能な限り残し、周辺環境との調和に努める。					
(4) 優先性	①保全対象には人家46戸があるほか、避難所である集会所、(一)八鹿停車場線、市道などがある。また、斜面には崩壊跡がみられ荒廃が進行していることから、早期事業着手を図る。					



位置図  
1:60,000



横断面



箇所名	大明神地区
-----	-------